

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 302 号	氏名	久富 恵子
学位審査委員	主査 大園 恵幸	副査 下川 功	副査 永安 武
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1、研究目的の評価 本研究は、特発性間質性肺炎 (IIPs) の主要な疾患である特発性肺線維症 (IPF)、非特異性間質性肺炎 (NSIP)、特発性器質化肺炎 (COP) におけるテネイシン C の役割を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2、研究手法に関する評価 血清および肺胞洗浄液 (BALF) 中のテネイシン C 濃度は、sandwich enzyme-linked immunosorbent assay (ELISA) キットを用いて測定し、肺組織におけるテネイシン C の局在は、Vectastain Elite ABC キットを用いて免疫組織化学染色を行い、その結果も統計学的に適正に処理されており、研究手法も妥当である。</p> <p>3、解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、血清テネイシン C 濃度は、COP 群で有意に高値を示し、肺標本のテネイシン C 免疫組織化学染色でも強い活性が見られることにより、テネイシン C が COP の病因に関わり、且つ血清テネイシン C が血清マーカーとなりうる可能性を明らかにしたもので、今後の特発性間質性肺炎の診断及び病因解明研究への貢献が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、呼吸器病態学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			